

## 2026年度 中学校指導目標

- (1) 自分のまわりに喜びと光をまく人として、将来社会に貢献できる人材を育成します
- (2) 建学の精神、スクールポリシーをふまえ、すべての生徒がその個性と能力を最大限に伸ばすことを願い、学力を基礎とした人間力のある生徒を育成します

### ☆具体的指導目標☆

#### (1) まわりに喜びと光をまく人になるための実践

- ・ボランティア活動や行事での活動、地域でのイベントなどを通して協働力を身につけ、奉仕の精神を培う機会を作ります。
- ・周囲の状況を見て、「今何をすべきなのか、何が求められているのか」を自分で考え、他者の気持ちを汲みとりながら行動できる力を育成します。

#### (2) 基本的な生活習慣の確立と自分の意思をきちんと相手に伝える能力の育成

- ・基本的な生活習慣(あいさつ、場に応じた言動、整理整頓、持ち物の自己管理)を身につける指導を行います。
- ・朝のスピーチや総合の発表など人前で自分の意見を発表する場を設け、自己表現力、プレゼンテーション能力を育成します。
  - ★1年…学級活動や学校行事などを通して、他者との上手な関わり方や基本的なコミュニケーション力
  - ★2年…他者との関わりの中で自分の役割を考え、TPOを意識した適切な行動をとる力
  - ★3年…後輩のロールモデルであることを意識して臨機応変に行動し、積極的に周りに細かな声かけをする力、リーダーシップの発揮

#### (3) 基礎学力の定着と学力向上へ向けての実践

- ・担任と教科担当者との連携を密にして学習状況や授業中の雰囲気などを把握し、個々の学力に応じて学力を伸ばす指導をします。※必要に応じて補習や個別学習を実施します。
- ・英検、漢検、数検などの検定試験に積極的に挑戦させ、得意分野を向上させます。
- ・ICT 機器を効果的に活用し、生徒自身が学習に興味をもち、主体的に学ぶような指導の工夫を行います。

#### (4) 学校行事への参加、生徒会活動の工夫

- ・学校行事の意味や参加の仕方について生徒が主体となって考え、中学校独自の生徒会活動を工夫し実践できるようにします。
- ・PDCA サイクルを意識した話し合い活動を通して、反省からの改善点を自分たちで考え、解決していく実践力を育成します。
- ・引き続き SDGs を意識し、新たな取り組みを提案、実施できるようにします。
- ・国際交流の場を通して視野を広げ、柔軟で幅広いものの考え方ができるようにします。

#### (5) 一人ひとりを大切にすきめ細かな指導

- ・中学校スタッフ全員で生活指導、学習指導、進路指導を行い、生徒一人ひとりのよさや可能性を引き出し、伸ばす指導を行います。
- ・教育相談、スクールカウンセラーとの連携を図り、指導に生かします。
- ・保護者が求めているものを感じとって的確な対応をし、信頼関係を築きます。
- ・教師は常に生徒の一步先を考えて準備をしておき、生徒が求めているものを感じとって実行に移します。
  - ※生徒にとっての best は何なのかを考えて行動します。
- ・今年のキャッチコピーは、“School should be a place where kids want to be.”です。